

鵜坂地区社会福祉協議会の状況

令和 5 年 6 月現在	設立年月	平成17年4月1日
--------------	------	-----------

会 長	藤井 充郎	副会長	大西貞夫 田中昌明 脇野聡美 勝原隆彦 竹内久子
-----	-------	-----	-----------------------------

事務局所在地	地区センター内・公民館内 その他（会長、事務局長宅等）			
--------	-----------------------------	--	--	--

事務局 TEL	465-2494	事務局 FAX	同左	事務担当	谷井正志
---------	----------	---------	----	------	------

人 口	11,853 人	世帯数	4,832 世帯	高齢化率	19.6 %
-----	----------	-----	----------	------	--------

- 一人暮らし高齢者とのふれあい交流
協議会の役員が一人暮らし高齢者のお宅を訪問して、小学生のお手紙を添えて花鉢などを配布する。(12月中旬予定)
- ひまわりの会
75歳以上の一人暮らし高齢者を会食に招待する。その際に日常の困りごとなどを聞き取る。(11月中旬予定)
- 広報誌の作成(年1回)
鵜坂地区社会福祉協議会の活動を掲載し、鵜坂地区の全戸に配布する。
- 福祉野菜バザー
地区の農家から提供いただいた野菜を販売する事業を通して、協力いただいた方々及び地区全体の福祉意識の醸成を図る。(7月23日実施)

主な活動等

一人暮らし高齢者とのふれあい交流



福祉野菜バザー



広報誌の作成

うさか 福祉だより 令和 5年 1月 1日発行 第 4 号 鵜坂地区社会福祉協議会発行

会長挨拶 鵜坂地区社会福祉協議会 会長 鳥田 英 哲
あけましておめでとうございます。皆様には健康やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧暦、縁起物にちなんで、皆様にご挨拶の気持ちを込めて申し上げます。
新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況下において、昨年、事業計画しておりました「福祉野菜バザー」が感染症予防策を講じて実施することができました。今年も新型コロナウイルスへの対応を視野に入れ、事業計画を策定してまいります。

「福祉野菜バザー」開催
新型コロナウイルス感染症の蔓延が懸念される7月24日、鵜坂地区社会福祉協議会主催の「福祉野菜バザー」が鵜坂公民館前にて、3年ぶりに開催されました。
参加者は、取手地区産及び各生産者組合のご協力いただき、野菜生産者の方々より16種類の野菜等をご提供いただきました。
当日、雨天に恵まれ「福祉野菜バザー」開始時刻の7時前には栗山の方々が会場前に並び、販売開始を待ちわびていらっしゃいました。
今回のバザーは、新型コロナウイルス感染症予防策として、「体温測定器」「アルコール消毒液」を設置、また、誘導員を配置し、密にならないよう一方向での荷物運搬といたしました。
バザーオープン後、栗山の方向が混雑に達していたため、徐々に売り切れになる野菜も続出し、開始から約45分で完売することができました。
お蔭をもちまして、今回の「福祉野菜バザー」は、36,200円の売上となりました。売上金は、今後の社会福祉協議会活動に有効活用させていただきます。本誌に専断させていただきます。
この日の「福祉野菜バザー」にご協力いただいた皆様方には、感謝申し上げます。

地域健康づくり展の開催
11月2日(水)3日(木)の両日に鵜坂公民館多目的ホールで地域健康づくり展を開催しました。これは栗山地域健康課から委託された事業であり、健康課長文化センターの各ブースや、成人病予防のふりや保健指導員の活動を紹介したポスターなどを展示しました。また、11月3日には、健康課長文化センター、栗山公民館の両方を会場としました。

ポータル協働の貸出し
各自命のいきいきサロンなどの実施にあたり、様々な可能な協働を模索し、活用が実現しました。これを受け、鵜坂地区社会福祉協議会では、ポータル協働の活用可能なポータル協働を1台購入いたしました。今後、貸出しを希望される方は、当協議会までお問い合わせください。

会長のメッセージ

社会福祉の活動、目的等について地域住民の理解を深め、高齢者・障がい者・独居者への安心、安全を図るため、会食・配食・訪問等を通じて福祉支援とその充実につなげたい。